

初辰まいり

住吉大社で最も頻繁に行われている神事の一つが「初辰まいり」である。「初辰まつり」を定期的に行うことで商売繁盛のご利益があるとされている。古代中国の12日周期で決められた月の最初の辰の日に住吉大社の四つの末社を参拝することで行われる。この名前は神聖な言葉遊びに由来する。「初辰」は「最初の辰」を意味するが、別の文字で書くと「発達」や「成長」を意味する。

初辰まいりは、参拝者が、種貸社、楠珥社、浅澤社、大歳社の順にお供え物をしてお参りする。この初辰まいりを4年間（48ヶ月間）続けて行くと、その繁栄は一生続くと言われている。この信仰は縁起が良い語呂合わせ、「四十八辰」という文字が「最初から最後まで発展する」という意味の文字と音が同じであることに由来している。

初辰まいりの日には、住吉大社の境内に屋台が並び、まるでお祭りのような雰囲気になる。毎月、初辰の日が違いため、事前にこのサイトでスケジュールを公開している。